寺内地域包括

『地域包括支援センター』は、地域にお住まいの高齢者の皆様が安心して生活を続けていけますよう、『何でも』ご相談をお受けしている総合相談窓口です。ご本人からでも、ご近所の方のことでも、離れて暮らすご両親のことでもかまいません。「こんなことを聞いても大丈夫かしら？」なんて遠慮もいりません。担当の包括は市町村の窓口からも問い合わせ出来ます。個人の秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

直通☎ 018-853-6300

寿光園居宅

事業所には現在４名の介護支援専門員が地域で暮らしているご利用者の悩みや相談事に応じ、自立生活ができる様に支援させて頂いております。生活環境・介護環境は一人ひとり違いますが、そのような皆様一人ひとりに適したサービスプランを提供するよう心がけています。私達は、地域の皆様の個々の生活に関わらせてもらう中で、人生の勉強をさせて頂いていると感じております。そのような経験を積ませてもらった介護支援専門員が対応させて頂きますので、一人で悩まず不安を抱かず、一緒に考えますので、お気軽にお電話ください。

直通☎ 018-893-5761

ヘルパーステーション

『住み慣れたご自宅での日々の暮らしのお手伝いをいたします。』

居室の清掃・調理・洗濯・買い物などの日常生活上の必要なサービスや、入浴介助･外出介助（通院）をおこなっております。

丁寧な介護支援サービスで安心感を持っていただけるように、また、ヘルパーの訪問を楽しみにしていただけるように、これからも信頼されるヘルパーステーションを目指して参ります。

TEL 018-880-1050

ショートステイ

ご利用者の心身の状況や、ご家族の精神的・身体的な介護負担の軽減を図る為、短期間施設利用し、日常生活上の支援や機能訓練等を職員が行っております。『急に身体を動かす事ができず、自宅で過ごす事が難しくなった』『在宅介護をしているが、時々休む時間がほしい』『冠婚葬祭等で一時的に自宅で介護をする事が難しい』等、ご利用者、ご家族のさまざまなご要望に応じ、ショートステイを利用される事で、在宅生活を継続出来るようサービスさせて頂きます。

TEL 018-880-1050

編集後記

まずは全国及び当園にて猛威を振るった感染症に関して大変ご心配をおかけしましたことお詫び申し上げます。幸い、その後新たな感染は見られず落ち着いた状態で今日を迎えられておりますこと、あわせてご報告させて頂きます。

立春･雨水･啓蟄と過ぎ、日々春に向かっていく今日この頃ですが、これからもご利用者様一人ひとりに寄り添い、笑顔の桜を咲かせていけるよう接していきたいと思っております。　（広報編集委員一同）

職員募集

詳しくは018-880-1050（滝田）
までご連絡ください。

寿光園の屋根の下
第135号
平成31年3月
発行元
高清水寿光園

待ちわびた春

高清水寿光園
相談員総括主任　加藤　剛

早いもので三月を過ぎ、日ごと春の匂いを感じるようになりました。毎日、草生津川添いの河川敷を愛犬と散歩することが私の日課となっております。ふと見上げると桜の蕾が少しずつ膨らみを見せ、「もう少しでお花見だよ」と愛犬に話しかけると、千切れんばかりにシッポを振り、地面の匂いをクンクンと嬉しそうに嗅ぎ回っています。

さて今回、『寿光園の屋根の下』発行にあたり、表紙の文章を書かせていただく大役を授かりました。作文は数十年ぶりのこと。何を書こうか迷いましたが、今日は私の趣味の話を少しさせていただこうと思います。

私の趣味はキャンプです。四月～十月頃までは月に一～二回程度、主に県内のキャンプ場を訪れています。ようやく待ちわびたキャンプシーズンです。ここ数年はキャンプブームとあり、多くの家族連れやソロキャンプ、最近はお洒落な女性キャンパーの姿も多く見かけるようになりました。

キャンプの魅力は何といっても大雑把……いやいやワイルドな野外料理とキンキンに冷えたビール。そして翌朝ゆっくりと寝袋から這い出し、自らドリップして淹れたモーニングコーヒーです。コーヒーには並々ならぬ拘りを持っており、朝もやの中、幻想的な自然を眺めて飲む一杯のコーヒーは、日々の疲れを全て忘れさせてくれます。私が淹れた拘りのコーヒーを、今年は是非ご利用者の皆様にも味わっていただく機会を設けたいと思っております。

最後に少しだけ仕事の話をさせていただきます。皆様もご承知の通り、今年は十月に消費税が増税となります。この消費税率引き上げに伴う介護報酬改定が予定されております。また、特別養護老人ホーム等のご利用者の食費・居住費の基準費用額も増額となります。引き上げ額は、要介護度やご利用されている居室類型により異なります。詳細につきましては、夏頃を目途に皆様へお知らせしたいと思っておりますので、今後共施設運営へのご理解ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

特　養

平成30年度　各フロアの取り組み

2東

2東フロアは 32 名のご利用者が生活されております。毎日の日課として軽作業のタオル・エプロンたたみのお手伝いをして頂いております。今年度の活動として、年忘れお楽しみ会で職員の弾き語りに合わせて「川の流れのように」などを職員と共に口ずさんで和やかな雰囲気でした。今後もご利用者の笑顔が溢れる支援を行っていけるよう心掛けていきます。

1東

1東フロアは、32 名のご利用者が生活されています。年末の茶話会では、ホットケーキとフルーチェ作りをしました。ホットケーキの素の粉と牛乳を混ぜて生地を作ったり、フルーチェの素と牛乳を混ぜて完成させたりと、皆さんご家庭でやっていらした家事のほんの一部分の再現でしたが、楽しまれている様子でした。アツアツのうちにホットケーキを食べたり、ひんやりと冷たいフルーチェを食べたり…と御自分たちが参加してできたおやつを「美味しいね」と召し上がっていらっしゃいました。

また、なかなか外出の機会をもてないことから、フロアの装飾をその季節に合わせたものにし、少しでも季節感を感じて頂けるようにしています。これからも、ご利用者が安心して過ごして頂けるよう支援して参りたいと思います。

介護の取組

寿光園では、ご利用者の方が４フロアに分かれ生活されています。一番身近でご利用者と関わるフロアの介護員が中心となり、介護力の取組を実施しております。今年度も各フロアのご利用者に合わせた支援内容を検討し、個々に支援期間を設定し取り組みを行っています。今年度の介護力向上の取り組みについて紹介します。

１階フロアでは、整容面と言葉がけ、レクリエーション（風船バレー、玉送りゲーム）に取り組んでいます。全職員で関われる雰囲気作りの工夫をし、表情の変化や笑顔を引き出す事へ繋げています。

２階フロアでは、昨年に引き続きユマニチュード技法（触れる・話す・見る・立つ）の４つの柱の中から、「立つ」に焦点を当て取り組みを行っています。多くの関わりを持ちながら上肢、下肢の筋力維持に繋げられる様に支援しています。又、夜間眠れないご利用者に対しては、日中の活動量を増やし夜間良眠に繋げれる様色々な視点から（散歩、折り紙、塗り絵、カラオケ等）の対応を勧めています。それぞれの取り組みの中で課題も沢山ありましたが、日常的な関わりの中で笑顔や精神面での安定に繋がったと思われます。ご利用者が日々穏やかに過ごして頂けるよう今後も取り組んでいきます。

年間の行事としては、今年度初めての試みで、本格的な臼と杵を使いご利用者の前で餅つきを実施しました。餅を付く際には、「ヨイショ～ヨイショ」と職員、ご利用者の方々から大きな声と同時に、「昔は俺もやったもんだ」「懐かしいな」との声が多く聞かれていました。又ご利用者の方々が杵を持って体験する場面もあり大盛況の餅つきでした。今後もご利用者に楽しく過ごして頂けるような企画を考えていきたいと思います。

2北

2北フロアは、28 名のご利用者がそれぞれ毎日エプロンたたみや歩行訓練等を行いながら生活されております。また、CD 鑑賞や時折カラオケを行うなど、昔を懐かしみ皆で声を出し合い楽しみながらレクリエーションも行い、気分転換を図って頂いております。これからもご利用者に寄り添いながら、笑顔を多く引き出すことが出来るように、様々な工夫をしながら支援して参りたいと思っております。

1北

1北は特養とショート併設のフロアです。個室の他、２人部屋のあるフロアであります。日々、マッサージや足浴などを通しふれあいの機会を設けると共に、風船バレーやピンポン玉リレーなどの運動の機会を作りメリハリのある生活を目指しています。ご利用者の方々からも好評であり、今後もご利用者皆様のいきいきした表情、笑顔を引き出すべく寄り添う姿勢を大切に支援して参ります。

※掲載している写真はご家族のご了承をいただいています